



平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 池田 辰雄
 (氏名) 田中 慶壽

TEL 03-5687-6025

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,113	△56.0	△764	—	△802	—	△832	—
21年3月期第1四半期	13,908	—	260	—	250	—	137	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△5.68	—
21年3月期第1四半期	0.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	38,964	18,724	48.1	127.63
21年3月期	40,961	19,721	48.1	134.43

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 18,724百万円 21年3月期 19,721百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	11,500	△58.6	△2,100	—	△2,150	—	△2,200	—	△15.00
連結累計期間	28,500	△41.5	△2,050	—	△2,150	—	△2,400	—	△16.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 146,876,174株 21年3月期 146,876,174株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 168,949株 21年3月期 166,915株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 146,708,392株 21年3月期第1四半期 146,731,678株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも平成21年4月28日に公表いたしました予想から修正しておりません。

(2) 業績予想につきましては、当社が現状で判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

(3) 当期の配当につきましては、今後の需要動向など経営環境が極めて不透明であるため、現時点では未定とさせていただきます。なお、今後の業績や財政状態等を検討し、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、在庫調整の進展、経済対策の効果などから、自動車生産で一部回復の動きにあるなど、一部では底打ち感が出てきましたが、個人消費や設備投資の低迷、厳しい雇用環境の継続など、全体としては依然厳しい状況が続きました。鉄鋼業界や特殊鋼業界においても、こうした経済環境の中で需要が低迷した結果、当第1四半期の生産量は前年同期比で大幅な減少を余儀なくされました。

このような環境下で、当社グループは最大限の売上確保、緊急収益改善策の推進、コストダウンなど業績改善に向けて全社を挙げて取り組みました。しかしながら自動車向けを中心に需要が低迷した影響は大きく、当第1四半期の連結業績については、売上高で6,113百万円（前年同期比56.0%減）、経常損失で802百万円（前年同期比1,052百万円減）、当期純損失で832百万円（前年同期比970百万円減）と厳しい結果となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

[特殊鋼]

自動車産業向けを中心に需要の低迷の中で、受注が低迷した結果、売上高は5,066百万円（前年同期比54.4%減）と落ち込むこととなりました。また損益面でもコストダウンに努めたものの、売上の低迷により592百万円の営業損失（前年同期比714百万円減）となりました。

[鑄鉄]

売上高は、自動車関連や建設機械向けなどの受注低迷により、767百万円（前年同期比64.3%減）と落ち込みました。損益面でも売上の落ち込みにより、87百万円の営業損失（前年同期比202百万円減）となりました。

[金型・工具]

主力の金型部品が自動車関連向けに低迷したことなどから、売上高は279百万円（前年同期比57.7%減）と落ち込み、損益面でも85百万円の営業損失（前年同期比109百万円減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は38,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,996百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（1,047百万円）、たな卸資産の減少（933百万円）、有形固定資産の減少（364百万円）等です。

負債合計は20,240百万円となり、前連結会計年度末に比べ999百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（2,102百万円）、未払金の減少（276百万円）、短期借入金の増加（1,671百万円）等です。

純資産は18,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ997百万円減少しました。主な要因は、四半期純損失832百万円、配当金の支払220百万円等です。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ248百万円増加し、484百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費458百万円、売上債権の減少1,047百万円、たな卸資産の減少933百万円等により増加した一方、税金等調整前四半期純損失814百万円、仕入債務の減少2,236百万円等により減少しました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,007百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出147百万円等により、149百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入1,671百万円、配当金の支払220百万円等により、1,406百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は当面厳しい状況が続くものと予想されますが、緊急収益改善策とコストダウンの推進など業績の改善に努めてまいります。

なお、平成21年4月28日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

（棚卸資産の評価方法）

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
（税金費用の計算）

税金費用については、従来、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっておりましたが、親会社との会計方針の統一を目的として、当第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	282	125
受取手形及び売掛金	4,223	5,270
製品	3,418	3,691
仕掛品	4,750	5,019
原材料及び貯蔵品	4,285	4,676
その他	587	477
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	17,542	19,255
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,111	7,402
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,441	4,514
有形固定資産合計	20,059	20,423
無形固定資産		
	118	118
投資その他の資産		
投資有価証券	932	844
その他	344	351
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	1,244	1,163
固定資産合計	21,422	21,706
資産合計	38,964	40,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,562	5,665
短期借入金	6,611	4,940
未払法人税等	22	4
賞与引当金	85	306
その他	2,770	3,159
流動負債合計	13,052	14,077
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	3,917	3,944
その他の引当金	40	48
その他	858	799
固定負債合計	7,187	7,162
負債合計	20,240	21,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	487	1,540
自己株式	△25	△25
株主資本合計	17,860	18,913
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130	74
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	864	808
純資産合計	18,724	19,721
負債純資産合計	38,964	40,961

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	13,908	6,113
売上原価	12,486	6,068
売上総利益	1,421	45
販売費及び一般管理費	1,161	810
営業利益又は営業損失(△)	260	△764
営業外収益		
受取配当金	21	8
受取賃貸料	17	8
助成金収入	—	94
その他	38	33
営業外収益合計	77	145
営業外費用		
支払利息	21	21
売上債権売却損	20	9
出向者人件費負担金	20	12
休業費用	—	121
その他	24	18
営業外費用合計	87	182
経常利益又は経常損失(△)	250	△802
特別損失		
固定資産処分損	11	12
特別損失合計	11	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	239	△814
法人税、住民税及び事業税	—	9
法人税等調整額	—	8
法人税等合計	101	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	137	△832

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	239	△814
減価償却費	491	458
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△256	△34
売上債権の増減額(△は増加)	223	1,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△996	933
仕入債務の増減額(△は減少)	1,459	△2,236
その他の資産・負債の増減額	945	—
その他	—	△354
小計	2,106	△1,000
法人税等の支払額	△745	△7
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,361	△1,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△414	△147
利息及び配当金の受取額	24	10
その他	△0	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	1,671
長期借入金の返済による支出	△72	△21
リース債務の返済による支出	—	△5
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△513	△220
利息の支払額	△22	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△608	1,406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	362	248
現金及び現金同等物の期首残高	1,171	235
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,534	484

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,099	2,148	660	13,908	—	13,908
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	11	10	89	(89)	—
計	11,166	2,160	670	13,997	(89)	13,908
営業利益	121	115	23	260	—	260

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,066	767	279	6,113	—	6,113
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	1	5	39	(39)	—
計	5,098	769	284	6,152	(39)	6,113
営業損失(△)	△592	△87	△85	△764	—	△764

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

(1) 特殊鋼……………鍛鋼品(ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材)

特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品(軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金)

その他(加工品、ビレット、その他)

(2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品(ダクタイル鋳物、普通鋳物)

(3) 金型・工具……………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,511	39	1,551
II 連結売上高（百万円）			13,908
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.9	0.3	11.2

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	855	4	859
II 連結売上高（百万円）			6,113
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	14.0	0.1	14.1

（注）1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

〈参考資料〉

平成22年3月期 第1四半期決算発表

日本高周波鋼業株式会社

連結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第1四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第1四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	6,113	△ 7,794	△ 56.0%	13,908	28,500	△ 20,247	△ 41.5%
営業利益	△ 764	△ 1,025	—	260	△ 2,050	△ 1,916	—
経常利益	△ 802	△ 1,052	—	250	△ 2,150	△ 1,926	—
四半期(当期)純利益	△ 832	△ 970	—	137	△ 2,400	△ 840	—
売上高経常利益率	△ 13.1%	—	—	1.8%	△ 7.5%	—	—
1株当たり四半期純利益	△ 5円68銭	—	—	0円94銭	△ 16円36銭	—	—
設備投資	99	△ 198	△ 66.5%	298	1,350	△ 240	△ 15.1%
減価償却費	458	△ 32	△ 6.6%	491	1,800	△ 115	△ 6.0%

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

(単位:百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期第1四半期		21年3月期第1四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	5,066	△ 592	11,099	121	△ 6,032	△ 714
鑄鉄	767	△ 87	2,148	115	△ 1,380	△ 202
金型工具	279	△ 85	660	23	△ 381	△ 109
合計	6,113	△ 764	13,908	260	△ 7,794	△ 1,025

3. 経常利益増減益要因(前年同期比) 2億円 → △ 8億円 (10億円の減益)

(単位:億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 固定費の減少	9	1. 数量・構成	23
2. 原燃料価格	7	2. 販売価格	3
計(A)	16	計(B)	26
		差引(A)-(B)	△ 10

個別

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:千トン、百万円、%)

摘要	当期 22年3月期 第1四半期	(対前年同期)		前年同期 21年3月期 第1四半期	通期予想 22年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	4,587	△ 5,748	△ 55.6%	10,335	22,000	△ 15,223	△ 40.9%
営業利益	△ 400	△ 281	—	△ 118	△ 1,400	△ 1,163	—
経常利益	△ 418	△ 450	—	32	△ 1,500	△ 1,351	—
四半期純利益	△ 432	△ 447	—	14	△ 1,750	△ 998	—
売上高経常利益率	△ 9.1%	—	—	0.3%	△ 6.8%	—	—
1株当たり四半期純利益	△ 2円95銭	—	—	0円10銭	△ 11円93銭	—	—

2. 部門別売上高(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期		前年同期		増減	
	22年3月期第1四半期		21年3月期第1四半期		数量	金額
	数量	金額	数量	金額		
工具鋼	6.7	1,936	15.3	4,186	△ 8.6	△ 2,250
特殊合金	2.9	1,861	4.6	3,969	△ 1.7	△ 2,108
軸受鋼	2.8	789	12.2	2,179	△ 9.4	△ 1,390
合計	12.4	4,587	32.1	10,335	△ 19.7	△ 5,748

以上